

# I Heard the Bells on Christmas Day

## クリスマスかの日に鐘ねの音きが聞こえた

『I Heard the Bells on Christmas Day』は、19世紀せいアメリカで歌われ始めたクリスマスうたの歌はじです。歌詞うた

は、19世紀アメリカの詩人かしヘンリー・ワーズワース・ロングフェロー (Henry Wadsworth Longfellow) の詩

が用いられています。歌もちに繰り返うたされている言葉く “Of peace on earth, good will to men” (「地上かえ

に平和ことば、人々に善意ちじょうあれ」) は聖書しょうのルカ2章14節せつからきています。

“Glory to God in the highest, and on earth peace, good will toward men.”

Luke 2:14

「いと高き所たかに、栄光ところが、神えいこうにあるように。地上かみに平和ちじょう、人々に善意へいわあるように。」

ルカ2章14節しょう  
せつ

[Verse 1]

I heard the bells on Christmas Day, their old, familiar carols play,  
And wild and sweet the words repeat of peace on earth, good will to men.

クリスマスの日に鐘かねの音ねが聞きこえた。その懐なつかしいクリスマスキャロル（聖歌せい か）が流ながれる。そして勢いきおい  
よく甘美かん びに言葉こと ばが繰くり返かえされる、「地ち上じょうに平和へい わ、人々ひと びとに善意ぜん いあれ」と。

[Verse 2]

Till ringing, singing on its way, the world revolved from night to day,  
A voice, a chime, a chant sublime of peace on earth, good-will to men.

鳴なり響ひびき、歌うたい進すすめ、世界せ かいは夜よるから昼ひるへと回かいてん転てんしていた。ひとつの聲こえ、鐘かねの音ね、崇高すうこうな聖歌せい かが「地ち上じょうに  
平和へい わ、人々ひと びとに善意ぜん いあれ」。

[Verse 3]

And in despair I bowed my head: “There is no peace on earth,” I said.

“For hate is strong and mocks the song of peace on earth, good will to men.”

そして私は絶望のあまりに頭を下げ、「地上に平和はない」と言った。「憎しみは強く、『地上に平和、人々に善意あれ』の歌をあざ笑っている。」

[Verse 4]

Then pealed the bells more loud and deep: “God is not dead, nor doth He sleep; The wrong shall fail, the right prevail, with peace on earth, good will to men.”

すると、鐘はより大きく深く鳴り響いた。「神は死んでおらず、眠ってもいない。悪は滅び、正義が打ち勝つ。「地上に平和、人々に善意あれ。」